

平成 25 年度第 5 回緑区地域福祉計画推進協議会議事要旨

【開 催】

開催日時 平成 26 年 3 月 27 日（木）14：00～16：00

開催場所 緑保健福祉センター2 階大会議室

出席者 委員 20 名中 16 名出席、ガイドヘルパー1 名
事務局 6 名（高齢障害支援課 2 人、社協緑区事務所 2 名、市地域福祉課 2 名）

【次 第】

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議題
 - （1）平成 25 年度緑区地域福祉計画の達成状況について
 - （2）平成 25 年度緑区地域福祉計画推進協議会 小委員会報告
 - （3）平成 26 年度に向けて
- 4 その他
- 5 閉会

【議事及び質疑要旨】

議題（1）平成 25 年度緑区地域福祉計画の達成状況について

松戸副委員長の進行により各委員から活動報告があった。

①報告事項

主な発言内容は以下のとおり。

（松戸副委員長）資料 4 に沿って進めたい。

（田宮副委員長）おゆみ野地区円卓会議を実施した。本日カラーの魅力マップを配布している。緑区の助成金をいただいて実施した。各自治会や学校等に配布する。4 月 6 日にさくらさくさくウォークラリーを開催するので参加して欲しい。

（中村委員）おゆみ野地区部会の報告をする。いきいきサロンは 95%達成した。散歩クラブは達成率 90%だった。いきいきサロンは年 8 回開催し 100 名の 65 歳以上の方に参加してもらった。時間は毎回 2 時間。スタッフは 30 名いる。3 月はランチのつどいを開催し好評だった。会場は鎌取コミュニティセンター以外にもおゆみ野公民館でも 2 回実施した。26 年度も引き続き開催する。散歩クラブは 2 回開催した。歩くスピードに合わせて健脚組とゆっくり組の 2 組設定している。11 月 19 名、3 月 40 名の参加だった。3 月は 1 名体調を崩したが千葉市あんしんケアセンター職員が居たので大事には至らなかった。平成 26 年度は 5 月 20 日に実施する予定でいる。

- (松戸委員) おゆみ野地区連協の報告をする。見守り活動はまだ始まっていないが、地区連協では見守り活動推進委員会を設置した。おゆみ野泉谷自治会では住民アンケートを実施した。来年度は進んでいくと思う。また来年度は避難所の避難訓練をメンバーが入れ替わる等の問題はあるが、8月31日に予定している。
- (本田委員) 椎名地区部会の報告を行う。地域の子ども達に対して住民との交流や、あいさつ運動を実施した。達成率はほぼ計画通り実施できた。福祉コミ懇まつりを2月8日に実施した。当日は雪が降っていたが開催できた。車が使えなかったので人力で運んだ。災害時にも役に立つ訓練になった。また身近な生活支援として古市場団地で見守り活動を行っている。希望者16名、ボランティア30名がいる。声かけやちょっとしたお手伝いを実施している。2月のふれあい食事はノロウイルス騒動があったので中止した。鵜田委員が欠席したので代わりに発表する。達成率85%と示されているが、実施しているので100%だと思う。詳細は記載通りだと思う。
- (稲山委員) 土気地区部会の報告を行う。2月の大雪でふれあい食事は食材が買えず中止した。厳密に言えば100%の達成率ではない。いきいきサロンも雪で中止した所があった。子育てサロンは0歳児の参加が多かった。1歳になる前に働きに出る母親も多くなったので参加者の入れ替わりが早い。慣れたところでいなくなってしまう。ウォークラリーは好天のもと開催できた。
- (野崎委員) 土気の町内会連協の報告を行う。土気の現状を把握することを行った。45自治会のうち、地区部会には70%の団体が協力している。スポーツ振興は50%の協力であった。4つの中学校区で月1回自治会会合を開いてもらうようお願いしているが、新しい地域ではあまり活発ではない。新しい地域では自治会の組織率も低い。避難所運営委員会は作ることは作ったが、当日以降のマニュアル作成は進んでいない。施設管理者との調整が進んでいない。千葉市危機管理課と防災対策課のデータがずれていた。土気市民センターは福祉避難所であった。住民用の避難所ではなかった。緑区地域振興課くらし安心室で調整になった。
- (江澤委員) 民生委員としての報告をする。土気見守りネットワークで月1回見守りについて話し合っている。見守りの必要性は認識しているが、自治会長が年1回で交代するので話が消えてしまいます。いきいきサロンを使って見守りを実施できないか考えだしている。民生委員としては独居高齢者を見て回るのが精いっぱいである
- (大槻委員) 鎌取町内会で見守りが立ちあがった。他の地区はパトロール中に見守りを実施している。ひきこもりや不登校について保護司と連携しだしている。26年度は美しくする会の風揚げ会場を緑区で開催する方向で話し合っている。千葉市消防署の協力で防災訓練についても調整している。
- (徳田委員) 老人クラブとしては健康づくりを目的に芸能大会や輪投げ大会、グラウンドゴルフ大会、ゲートボール大会を実施した。芸能大会は菅田公民館で行った。輪投げ大会の時には千葉南警察署の講話を同時に行った。

- (廣田委員) 障害者が地域で生活している実態をなるべく知ってもらうことを目標にしている。10 月にはツインビル 2 号館で障害者作品展を実施した。千葉市全体の障害者が作品を展示し市民に見てもらった。12 月にはハーモニープラザで障害者福祉大会を行った。市政だよりで告知したが一般市民はあまり参加がなかった。障害者自体の横の連携も目標にしている。9 月に菅田でカラオケ交流会を行った。聴覚障害者が集まれる機会を来年度実施したい。達成率は 70%にした。障害者団体も会員が高齢化している。若い世代が団体活動に取り組んでももらえない。障害者を持った人の組織率が把握しにくい状況である。1 割も入っていないと思われる。緑区にどのような障害者どのくらいいて、どのような生活をしているか知って、仲間になってもらい地域と繋がってもらいたいと考えている。身体障害者連合会としては小中学校で障害者自身が普段の生活のお話をする事業をしている。しかし緑区内の学校からは依頼が少ない。委員の皆さんにはそのような事業をしていることを学校に宣伝して欲しい。
- (石本委員) ときわ園の報告をする。80%の達成率で評価した。まだまだ十分でなかった所があった。中学生の職場体験など具体的な目標はある。施設は地域の社会的資源として職員が確認し合って、交流の芽を見逃さないようにしている。
- (岡本委員) 古市場と鎌取町の立ち上げに携わった。またおゆみ野の見守り会議にも参加した。手引書に関してはあらまし(案)を作成した。おゆみ野で立ち上げられなかったことと、手引書があらましになったので達成率を 80%にした。
- (烏山委員) 今年度は自治会、民児協、地区部会と情報交換を開催した。3 センターになったことで相談件数は半分になっているが、相談先を知らなかったという状況もまだある。広報活動は必要と感じている。
- (布施委員) 見守りネットワークの構築と社会資源の活用を目標にした。見守りネットワーク会議は月 1 回開催している。社会資源の活用についてはボランティアの協力体制がつけられなかった。
- (中村和委員) 福祉有償運送サービスの報告を行う。1 月末現在 142 名 56%になっている。6 名が亡くなったり退会した。実質 16 名増加した。月曜日木曜日の増加が見られなかった。休診日が影響している。独居高齢者への声かけは出来ていなかったケースもあったので 83%の達成率になった。来年度はもっと数字を上げたい。

議題(2) 平成 25 年度緑区地域福祉計画推進協議会 小委員会報告について

松戸副委員長の進行により各委員より小委員会の報告説明があった。

主な発言内容は以下のとおり。

(松戸副委員長) 資料 5 に沿って進めたい。

(事務局) 見守りネットワーク検討委員会の報告を行う。見守り活動未実施の地域に啓発することを目的に活動していき。手引作成と講演会を目的にしていた。緑区の助成金をいただいて活動してきた。当初目標は達成できた

ので 100%にした。

(烏山委員) 高齢者と児童の交流促進小委員会の報告を行う。25 年度はけやき園、千寿苑、ほんだくらぶ、ときわ園の協力をしてもらっている。学校との交流場面のビデオを見たが形になってきた。各施設と小中学校の交流は別紙で配布したとおり。学校側が施設に出向ければ良い交流がさらに出来ると思われるが、なかなか難しいところもある。来年度もさらなる交流を進めようと思う。

(中村和委員) みどりのきずな 23 号(案)を配布した。誤字脱字はないと思う。内容がこれで良ければ別紙案のとおり発行したい。

(全 委 員) 異議なし

議題(3) 平成 26 年度に向けて

岡本委員長の進行により平成 26 年度に向けて各委員から意見があった。

主な発言内容は以下のとおり。

(岡本委員長) 27 年度から基本方針が変わってくる。26 年度は見直し行う。本日午前中に社会福祉審議会を行った。第 3 期区地域福祉計画は地区部会ごとに活動を進めることになる。中学校エリアごとに課題を研究することになる。新年度に詳細は発表したい。また 26 年度は学校における福祉教育に重点を置いてみたいと思っている。学校に働きかけて福祉教育を進めていきたい。烏山委員から報告があったが、学校と施設の交流も進めていきたい。子ども達の意識が高まるし、高齢者も喜んでいる。石本委員と高齢者施設の報告が上がったが何か来年度は交流をしていきたい。

その他

(事務局) 資料 6 の福祉カレンダー 7 月～9 月を 5 月 30 日までに社協まで提出して欲しい。

(本田委員) 学校と地域のふれあいは椎名小学校で行っている。椎名小学校では 6 年生とふれあい食事会に来て交流してもらっている。小規模だから可能だと思う。年 2 回は行っている。子ども達が高齢者に手紙を書いている。高齢者も喜んでいる。

(中村和委員) 大槻委員に質問だが、誉田地区で自治会館を新しくしているようだが費用はどのようにしているのか。

(大槻委員) 千葉市の助成金の一部入っている。700 万円だったと記憶している。他の例だと、町内自治会員から各 5 万円集めて作った自治会もあったし、ローンを組んでいる自治会もある。

(廣田委員) 障害者の権利条約をみどりのきずなに書いたが、こんなことを書いてほしいという希望があれば聞いておきたい。障害者との付き合いは普段無いと思うのでリクエストを聞いておきたい。

(大槻委員) 3 障害の交流はどうか。

(廣田委員) 障害といっても肢体・聴覚・視覚・内部障害・免疫障害・精神障害等あり、障害者福祉手帳を持っている。今回のみどりのきずなには書いたが、

雇用促進法には精神障害もカウントすることになって制度になっている。障害の捉える幅も広がっている。ADHDやLDも障害の仲間になってきている。

(岡本委員長) 障害者の出前授業で記事を書いてほしい。

(廣田委員) 承知した。

(本田委員) 視覚障害者は点字ブロックでの不自由はあるか。

(廣田委員) 全盲者はブロックの上を歩くが、弱視者はブロックを目安にして歩く。路面とブロックが同じような色だと見分けが付きにくい。周りに自転車やバイクがあるとブロックの上を歩いてないが近くにあるだけでぶつかることになる。最近は駅にも自転車整備員がいて歩きやすくなった。昔、葛飾に住んでいた時はとても酷かった。弱視者は白杖を持ってないので一般人は分からない。普段から黄色いブロックの上や近くには物を置かないように子ども達に伝えてほしい。

(石本委員) 大木戸小学校PTA会長と越智中学校で青少年育成委員会をしてきた。先生方も5年経つと他の学校に異動する。先生とパイプが出来ているので自分を活用してほしい。

(岡本委員長) 多くの学校と交流を持ちたい。

(烏山委員) 推進協にはときわ園と裕和園が高齢者施設の代表として出てきたが、施設が地域貢献できる事を来年度は考えていきたい。

委員長が閉会を宣し、第5回緑区地域福祉計画推進協議会は散会。